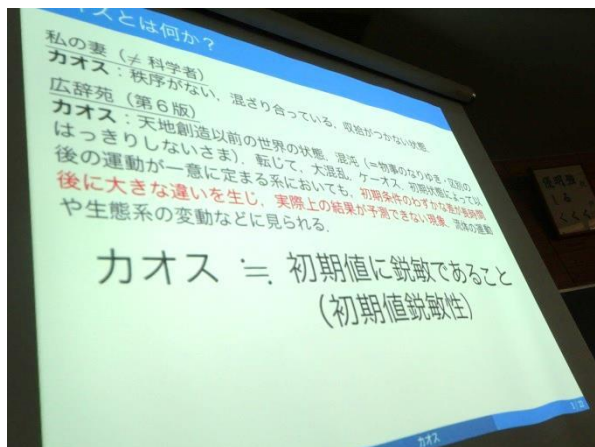


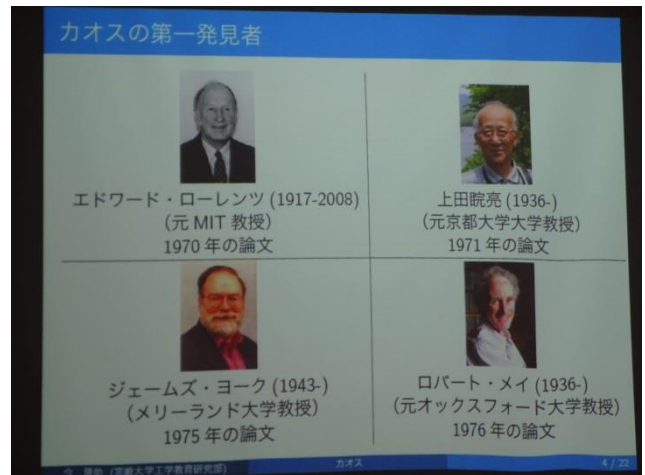
第1回理数教育講座 6月3日(金)

本年度第1回目の理数教育講座が開催されました。今回は、宮崎大学から2名の先生方においていただき、2年生を対象に講座が開かれました。大変高度な内容でしたが、皆、真剣な表情で熱心に講義に耳を傾けていました。先生方から、「反応がよくて、大学生よりもやりやすかった。」「大変熱心で、礼儀正しく、いい生徒さんですね。」とお褒めの言葉をいただきました。先生方も、準備を周到にいただいた上に、子どもたちを引きつける素晴らしい授業をご提供いただきありがとうございました。

■ 工学部 工学基礎教育センター 今 隆助 先生

『カオス』





<生徒の感想より>

2年 S 組 窪田伊里さん

理数教育講座では、たくさんの興味深い話や授業をありがとうございました。私にとってはまだ難しい話で理解するのは少し大変でしたが、動画や絵、問いかけ等を使った話で面白かったです。私は理科と数学が特に好きな教科だったので、振り子の動きや昆虫の数について黒板に書いてくださった式などが、とても興味深かったです。なぜ、このようになるのだろう？とたくさんの疑問が湧き、とてもわくわくしました。この気持ちを忘れないで日頃の勉強も頑張ろうと思える面白い授業でした。

2年 S 組 坂元 翔くん

今回の理数教育も、とても面白く興味深いものでした。また、大学ではこんな研究や勉強をしているのだということもわかりました。その中でも、僕は、特にカオスの話に興味を持ちました。とても難しい話でしたが、カオスの本質については理解することができました。そして、天気予報がなぜ1か月先まで予測できないのかという、小さい頃から持っていた疑問を今回の講義により解決できてスッキリしました。また、機会があったらもっと詳しく知りたいなと思いました。

2年 S 組 石川咲希楽さん

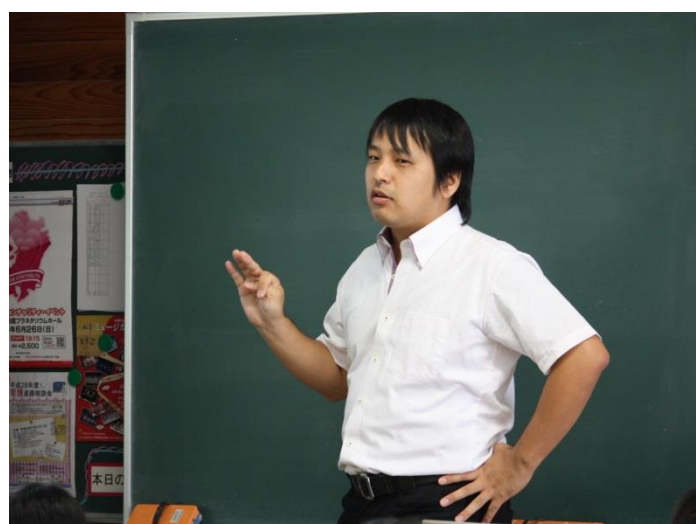
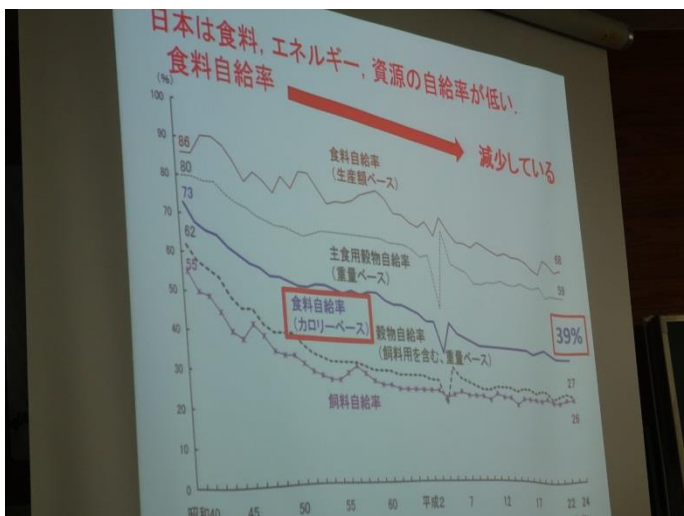
今回の理数教育では宮崎大学の先生方が来てくださいました。1時間目は農業についてでした。農家不足と平均年齢の高さには驚きました。また、砂漠でも農業ができ、さらにソーラーパネルを使ってお金にする農業の仕方も効率的で良いと思いました。2時間目はカオスについてでした。私は「カオス」という言葉は知っていましたが、その意味については全く知りませんでした。黒板にも難しそうなが計算式が書いてあって、「絶対わからない！」と思いました。しかし、先生が意味、使い方等々丁寧に細かく教えてくださったので、途中から「カオスっておもしろい！」と思いました。今回の授業は自分にとってとてもためになったと思います。今回は授業していただきありがとうございました。

2年 S 組 渡邊亜弥さん

今回宮崎学園で授業をしてくださりありがとうございました。どちらの授業もとても興味深かったのですが、特に印象に残っているのはカオスについてです。普段何気なく使っている“カオス”というものが、実はいろいろな論文に取り上げられているのを知り、驚きました。また、見たこともない式を見たり、理解したりすることはとても面白く、もっと勉強したいと思いました。農業では「新たな農業のカタチ」を学び、農業にも関心を持つことができました。私の親戚は農業を営んでいるのですが、今度、今回の話題について話してみようと思います。2時間という短い時間でたくさんのことを学ぶことができ、とても有意義でした。

■ 農学部 植物生産環境科学科 霧村雅昭 先生

『新しい農業のかたちをデザインする ―農業と工業の融合―』



2年 T 組 高田悠馬くん

今回の理数教育でカオスというものを知ることができました。また、「カオス」という言葉は、初期値鋭敏性が最小の誤差でも大きな誤差になることを表しているということも知ることができました。僕は、理数教育の理科は元から好きでしたが、今回の授業を通して数学も好きになりました。次回はもっと理解できるようになって、先生の話がどんなことかをもっと知りたいと思いました。

2年 T 組 小倉美咲さん

私は今回の理数教育でとても驚きました。その理由は内容が難しく、話しについて行けなかったからです。大学の内容なので当然なのかもしれませんが、混乱してしまいました。でも、少しはわかりました。最初の「カオス」の話は、最初は規則的だったのに途中から不規則になってしまうという式のこと。次の「農業のデザイン」では、「今、農家の後継者問題で困っているのはなぜか」ということやそれを解決するためにソーラーパネルを設置してみたらいいのではないかとということなどがわかりました。また、お二人を見ていて、それぞれこの分野がすごく好きなのだなあと感じ、同時に好きなことをできることは苦労はあってもうらやましいなあ。」と思いました。私も将来は、得意なことや好きなことを活かした仕事に就きたいです。

2年 T 組 三ヶ尻俊輝くん

今日の理数教育で一番印象に残ったことは、数学の楽しさについてです。今まで私の中では数学は、解いて終わりのものとしか考えられていませんでした。しかし、今回の理数教育講座では数学を応用して研究をすることができるとことが分かりました。今回の理数教育を通して、少しでも数学の面白さについて考えることができたのでよかったです。

2年 T 組 宮田桃名さん

理数教育の授業を受けましたが、習っていない用語もたくさん出て難しかったです。しかし、中学生でも理解しやすいようにたくさんの工夫をされていて、今回の理数教育講座のために準備をいただいた先生方のすごさを知ることができました。私は数学が苦手ですが、理数教育講座を受けるたびに、「勉強をもっとしたい。」「苦手を克服して理科と数学をもっと頑張ろう！」と思います。大学では、理数教育講座くらいのレベルの授業が毎日あると思うので、今のうちから全教科を好きになって、いろいろな知識を入れていきたいと思いました。

